松　山　大　学　論　集
第 26 巻 第 1 号 抜 刷
２ ０ １ ４ 年 ４ 月 発 行

初習言語教育における
相互文化理解の授業の在り方を考える

―― 松山大学の初習言語「ハングル」における授業例を中心に ――

金　　　　菊　　熙

報告書

初習言語教育における相互文化理解の授業の在り方を考える[1)]

── 松山大学の初習言語「ハングル[2)]」における授業例を中心に ──

金　　菊　熙

要　約

마쓰야먀대학의 언어교육은 언어문화부회가 주축이 되어, 총 6개 학과의 1, 2학년 학생을 대상으로, 필수과목과 선택과목을 합한 계 14단위 이상의 외국어수업을 이수하도록 하고 있다. 2011년부터 개정된 신커리큘럼의 외국어 교육 목표에 따라 한국어 교육에 있어서도 2012년도부터 기초 이수과목에 대해 공통 실러버스, 공통 교재, 통일 기말시험을 실시하고 있다. 또한, 2013년도 후기 수업에서는 상호문화이해를 위한 교육의 일환으로 이문화이해를 주된 내용으로 하는

---

1) 本稿は平成24年度に交付を受けた松山大学教育研究助成による研究成果の一部である。

2) 周知のとおり「ハングル」は言語を意味する言葉ではなく，韓国と北朝鮮で使われている言語（それぞれ「韓国語」，「朝鮮語」と呼ばれている）の文字の名称である。日本語に例えるなら「ひらがな」や「カタカナ」に相当するものである。日本では古くから「朝鮮語」という名称が使われてきた。しかし，朝日出版社が独自で行った調査データによると，2012年度の時点で，全国の国・公立と私立の大学210か所の言語名のうち，「韓国語」が主な表記（言語名）となっているのは101か所（48.1%）で最も多く，次に「朝鮮語」が用いられているのは39か所（18.6%）のみであった。その他，「ハングル」「ハングル語」「韓国・朝鮮語」「朝鮮・韓国語」「コリア語」「現代コリア語」「コリアン」「外国語とその運用（韓）」といった実に様々な名称が現在は用いられている。

발표 수업을 도입하고 그에 대한 평가 점수 또한 다른 페이퍼베이스의 시험 점수와 같이 성적에 일정 비율 반영하는 형식을 취하고 있다.

본고에서는 먼저 마쓰야마대학의 한국어 교육에 시험적으로 도입된 발표 수업의 실시 배경과 내용에 대해 상술한다. 아울러，저자가 담당한 기초한국어 클래스의 발표 수업에서 학생들이 이문화에 대해 어떤 식으로 반응했는지를 정리했다. 마지막으로，상호문화이해를 도모하기 위한 현 수업 방식의 문제점 및 개선 방안에 대해서도 짚어 보았다.

キーワード：松山大学，初習言語教育目標，韓国語，異文化，相互文化理解

1．は　じ　め　に

語学教師であるなら誰もが経験することであるが，学習者を目の前に目標言語について語るたび，我々は常に自分の言葉で異文化を説き，それを効率よくかつ正しく伝えようと日々努める。言語を教えるという立場上，その言語が話されている地域の言葉遣いをはじめ，食べ物や音楽，服装，映画，文学等々について説いていく中で，ときには意図していないものや，自分ですら気づかないものまで，‘文化’として学習者に伝えているのである。

外国語教育の目的が，母語以外の言語学習を通じて目標言語圏の人とのコミュニケーションを図り，そのコミュニケーションを通して異言語・異文化に属する話者同士の相互理解を最終の狙いとするものであるなら，手段としての言語技能に劣らず異文化に対する理解も重要な教育目標になってくる。しかし，主に教室内で行われる語学授業において，言語の形態や機能を教えることと，文化に対する理解は，必ずしも一直線でつながったものではないように思われる。言い換えると，授業科目として「○○語」を教えることと，「○○文化」を教えることでは，全くその内容が異なってくるように思えてしまうのである。

例えば，韓国語を話すためには韓国文化を理解しなければならない，というのは何の抵抗もなく受け入れられる。しかし，そのための「文化」教育を行うと聞くと，“big C”や“small c”の頭文字[3]を思い浮かばせたり，“氷山”の一角[4]を連想してしまったりと，やや混同状態に陥ってしまう。そのあげくは，「文化を教えるということは何か」と，頭の中は大混乱を極めてしまうのである。少し落ち着いた後，その原因らしきものを探ってみると，そもそも「言語」そのものが「文化」の一つであり，文化から切り離せるものではないこと，そして「文化」を説明するためには「言語」を用いるしかないが「言語」だけでは「文化」を十分表せないといった，まさに「文化」そのものが持つ複雑性にすべてが起因すると考えられる。

幸いにも本稿の狙いは，そのような複雑さ極まる「文化」を上手に解体して簡潔に定義付けることではない。むしろ一般的で典型的とも思われる語学授業の中でいかにさりげなく「文化」を取り入れることができるのかについて考えたいものである。そのための手順として，続く第2章では松山大学の初習言語の教育目標に照らし合わせて「ハングル」の授業の現状を取りまとめることにする。そして第3章では，「ハングル」の授業で相互文化理解の一環として試みられた「発表」授業の内容について述べ，第4章では「発表」授業によって新たに提示された課題や問題点について触れたい。第5章では，本稿のまとめとして，語学教室現場に取り入れられる改善策など，今後の研究課題について記したい。

2．教室環境で行われる語学教育の目標

第2言語として外国語を習得する場合と，主に教室内での授業活動を通じて外国語教育として言語学習が行われる場合では，その目的や教授内容まで大きく異なってくることは容易に想像できる。特に，学校教育の一環として行われ

3）cf. Brooks（1971，1975）.
4）cf. Brown，S. C.，& Kysilka，M. L.（2002）.

る外国語教育には，当然ながら各教育機関が定める教育方針に沿った具体的な教育内容が設定され，さらに詳細は授業計画案に従って当該言語の指導と学習が行われる。

本章では，まず，松山大学の初習言語の教育目標と教育方針を概観した上，幾つかの外国語の中でも「ハングル[5]」の教育体制と現状について述べたい。

2-1.　松山大学の初習言語教育における教育目標と教育方法

松山大学では言語文化科目と称して英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ハングル・スペイン語・日本語の教育が行われている。その中でも英語以外の科目は初習言語科目に分類され，学生の履修希望に沿ってどれか 1 つの言語学習が行われる。各言語科目は，基礎的な内容を扱う言語文化基礎科目と応用的な内容を扱う言語文化応用科目に分かれており，主に 1 ，2 年次に基礎科目を，2 年次以降に応用科目を学習するようになっている。また，1 年次に対しては初習言語科目の 4 単位の履修が必修となっており，2 年次以降では言語文化応用科目の中の英語と初習言語のどちらかを選択して 2 単位を履修するようになっている[6]。これらの言語文化科目に対するカリキュラムポリシー等の策定は，松山大学言語文化部会が主体となっており，2011 年度のカリキュラム改編を受け，2012 年度より新しい教育目標，教育内容によって新カリキュラムを運営している。

以下では，言語文化科目の中でも初習言語科目を中心に，その共通の教育目標と教育内容について概観したい。

5)「ハングル」が言語を称するものではないことについては，本稿の冒頭で述べたとおりである。以降では，授業名を示す際は「ハングル」の表記を用いて「ハングル 1 」「ハングル 2 」「ハングルコミュニケーション」のように記す。その他，言語の名称として用いる際は，便宜上「韓国語」に統一して表記したい。

6) 学部学科によって必修科目と履修単位数が異なる。なお，これとは別に 2 年次生に対しては，英語の 2 単位の履修が必修となっている。

○教育目標

1．初習言語へ持続的な興味を持ち，自主的な学習態度を養うための土台を作る。
2．日常生活と一般的な話題に関してコミュニケーションが行える基本能力を育てる。
3．ヨーロッパないし東アジア圏の多様な情報を理解し，それを活用できる能力を培う。
4．相互文化理解を深めるため，初習言語学習を通じて日本との慣習や文化の違いを理解する。
5．外国人に対して自分の意見や意思が相手に伝わるまで，積極的にコミュニケーションに取り組む姿勢を養う。

情報通信技術の著しい発展に伴って一層グローカル化の進む世界情勢において，母語以外の言語や異文化を理解する能力は，共生共栄を築いていく地球市民に求められる基本素養である。世界には英語以外にも何千ともなる多数の言語が存在し，すべての言語はコミュニケーションとアイデンティティ表現の手段として同等の価値を持ち，すべての人が母語で自分の意思を伝える権利を平等に持つ。そこで初習言語では，まず，英語以外にもう一つ別の外国語を受容言語として理解する能力を，生涯を通じて養う土台作りを目標とする。ヨーロッパの言語としてはドイツ語・フランス語，東アジア圏の言語としては中国語・韓国語を主軸としている。それに，非常勤講師のいるスペイン語を追加し，外国人学生に向けては，日本語を開講している。スタッフに関しては，ハングルのみ専任教員１名であるので，教育の質を維持し，安定的で継続的な授業運営を行っていくための教員数の確保に努めたい。目標としては，次に，学生が選択した言語について，日常生活と一般的な話題に関して，コミュニケーションが行える基本能力を育てる。また，その言語によって様々な情報を理解し，活用できる能力を培い，異文化を理解すると同時に，こちらから積極的に日本の文化について発信していく相互文化理解の姿勢を育てる。

○教育方法
1．カリキュラム
2．大学内外でのプログラム・各種留学プログラム
3．検定試験

初習言語のカリキュラムでは，読む，書く，聞く，話すという外国語の 4 技能を高めるため，基礎科目で培った基本的な言語運用能力を，2 年次でも続くステップアップで基礎固めをし，コミュニケーション，リーディング，ライティング，キャリアアップという応用科目によって能力を伸ばせるようにしている。その際，大学での 1 年間の限られた授業時間内で十分な学習効果を得るために，続いて 2 年次以降の自主的な学習をサポートしていくためにも，コミュニカティブ・アプローチ中心の授業運営を行っている。さらに，メディアの提供する情報の読み解き方・情報活用方法を訓練し，異文化理解・相互文化理解の姿勢を育てている。

（中略）

○目標達成度の検証方法
1．教員からの学生への成績評価
2．授業評価アンケートを利用した追跡調査
3．各種プログラムや検定試験についての参加数の追跡
4．2 年次以降の履修状況の追跡

設定された目標がどの程度達成できているかを検証するために，まずカリキュラムについては，教員からの評価と授業に対する学生の評価，および学生自身による自己評価を用いて検証することを予定している。具体的には，授業評価アンケートを利用し，5 つの教育目標と学生自身の自己評価について，質問項目を設けて調べる予定である。また各言語の方針に従い，学生の成績評価において，基本的な実践的言語運用能力の評価に相互文化理解への評価をある程度プラスすることを目指す[7]。（以下，省略）

2-2. 初習言語「ハングル」の教育実施現況

松山大学における韓国語教育は，言語文化部会が掲げる教育方針に準じており，さらには初習言語科目の教育目標[8)] に沿った具体的な教授・指導案を設けている。カリキュラム改編が行われた2011年度には，韓国語の教員構成にも若干の変化が生じており，それを受けた形で，2012年度からはそれまでとは違う体制で教育指導が行われることとなった。

まずは，他の言語とは違って，教員の大半がネイティブスピーカーであるメリットを最大限に生かし，基礎科目ハングル1と2に設けられた「口頭」クラス[9)] を取りやめ，どのクラスも30人前後の受講生で授業運営が可能になるよう，基礎クラスの全体数と1クラス当たりの人数を調整した。そして，12～13クラスほどあった同一の基礎科目ハングル1，2の教材と授業シラバスを共通化し，定期試験として実施される学期末の試験を「統一試験」に変え，一斉に実施することにした。共通シラバス，共通教材，統一試験の最大の狙いは，2年次にも続く基礎科目や応用科目の授業運営を効率良く運んでいくためである。さらに，教員間の連携と協力体制を一層強化し，1つのクラスに対して2人の講師が担当するペア授業に関しては，原則ネイティブスピーカー（NS）とノンネイティブスピーカー（NNS）でペアをなすように一定の基準を設けた。これに対して，教員構成によって学部・学科別の指導の結果，最終成績等にどのような違いが生じるのかを試す目的で，NS＋NNSからなるペアクラスのほか，NS教員1人が担当するクラス，NNS教員1人が担当するクラスをそれぞれ設けることにした。[10)]

7）下線は著者によるもので本稿に最も関わる所。

8）前項で述べた5つの教育目標であるが，趣旨としては「教育目的」に近いものと考えられる。以降では「教育目的」と「学習到達目標」に分けて明示していくことにする。

9）丁寧な文法説明よりは，入門からネイティブ教師によるコミュニカティブ・アプローチ中心の指導を行う少人数体制のクラス。言語によって受講者の数はたちまちであるが，韓国語の「口頭」クラスの場合は「一般」クラスに比べ半数程度の受講者で設けられていた。

10）2012年度の成績集計の結果，同一学部・学科生を基準とした場合，授業担当者間のクラス成績差は僅かなものであった。しかし，これとは反対に，学部・学科間の成績の差異は顕著であることが成績集計の結果明らかになった。

2014 年度 4 月の時点で，松山大学の韓国語教員は，常勤講師 4 名と非常勤講師 4 名の計 8 名の体制となっている。その中には，韓国語を第 1 言語（母語）とする者が 5 名いる。その他の教員に関しても高度の韓国語コミュニケーション能力を備えており，コミュニカティブ・アプローチ中心の授業運営に全くといって支障はないと考えている。2012 年度は，基礎科目「ハングル 1 」と「ハングル 2 」でのみ共通教材を用いていたが，2013 年度から「ハングル 3 」と「ハングル 4 」が既存の 1 クラスから 2 クラス体制に変わったことで，1 年次から 2 年次まで一貫して学べる共通のテキストを選定することにした。その結果，共通テキストとして，韓国国内において外国語としての韓国語教育分野の最新のトレンドを取り入れた，言語の 4 技能とタスク中心の活動がメインとなった，入門から基礎レベル向けのものを選んでいる。出版元が日本国内ではないことや，日本で市販されている韓国語テキストに比べ日本語が少なく馴染みのないイラストを使用していること，タスク中心のテキストに韓国語の教員が不慣れなこと等など，指導する教員側からも新しい教授スタイルに慣れていくのと同時に学んでいくことが少なからずあったと考えられる。

コミュニカティブ・アプローチを適用する別の理由として，韓国語と日本語は語順と文法が非常に類似していることや，漢字をベースにした語彙構成によって多くの語彙が共通している点が挙げられる。したがって，単語の意味さえ分かっていれば，初級のレベルでも詳細な文法説明を省いても，話の意味がおおよそ理解できるといったメリットを最大限に生かすことが可能である。文法説明の時間が省かれる分だけ，教師の話す時間が短くなり，ペアワークやグループワークに費やす時間を増やして，少しでも学習者の役割が増えるクラス作りが望ましいと考えている。しかし，現状のカリキュラム体制では，大学に入ってからせっかく習い始めた初習言語であっても，1 年間の学習時間では到達できるレベルに限界がある。その限られた時間内で十分な学習効果を得るためにも，また，2 年次以降の自主的な学習をサポートしていくためにも，従来の文法訳読式教授法に比べ，コミュニカティブ・アプローチの持つ利点は多い

と考える。

１年次対象の「ハングル１」「ハングル２」は，再履修クラスを除く全クラスで共通シラバスとなっている。そして，教科書と最終試験は統一のものが用いられる。したがって，到達目標や教授・学習内容，評価基準等が，教員間で共通の理解の上適用されるようになる。しかし，学部・学科，クラスの規模(受講者数)，受講者の動機づけといった複数の変数が存在することを勘案して，授業の進め方（教授法）や教授・学習内容の指導手順，中間試験の内容や難易度の設定，平常点の適用方法などについては，教員の裁量に委ねている。

松山大学の初習言語科目として韓国語を選択する場合，１年次の選択必須科目である「ハングル１（前期履修科目)」と「ハングル２（後期履修科目)」の年間の学習到達目標は，韓国語能力試験[11)] １級の合格レベル[12)] と定めている。そして２年次で基礎科目「ハングル３」と「ハングル４」を年間で履修した場合は，韓国語能力試験２級の合格レベル[13)] に達すると考えられる。韓国語能力試験１級合格に必要な単語数が約 800 語で，２級の場合 1,200 語前後となっているため，この到達基準が決して年間の授業時数からして到達しえないものとは考えにくい。むしろ至って妥当な基準であると考えている。基礎科目「ハングル１」と「ハングル２」それぞれの学習到達目標，教授・学習内容，評価基準の概要については，大学ホームページからの公開資料を参照されたい。

続く第３章では，松山大学の初習言語科目の教育方針と教育内容に従って，韓国語の授業内で具体的にどのような異文化理解のための授業が試みられたのかについて，一連の経緯を踏まえた上，授業例を取り上げたい。

11）韓国教育部の下位組織である国立国際教育院が施行，主管する試験のこと。韓国のほか，世界 62 か国 177 か所の地域で一斉に実施される。詳細は http://www.kref.or.jp を参照されたい。

12）CEFR の基準でいう A1 に相当するレベル。

13）CEFR の A2 レベルに相当すると考えられる。

3．初習言語科目「ハングル２」での相互文化理解の授業例

2012年度に作成された松山大学における言語文化科目の教育方針と教育内容に従って，韓国語の基礎科目のシラバスにも初習言語科目共通の教育目的を明示し，その内容に準ずる学習到達目標と評価項目および基準を設定することになった。その過程で相互文化理解に対する具体的な教授・指導内容とその評価方法や評価点について明確な基準を定めることが容易なことではないということが分かってきた。

ここで本稿の冒頭での話にさし戻すと，そもそも「文化」とは何で，「文化理解能力」は，果たして教えられるものなのかといった素朴な疑問が続く。そしてさらには，「文化（理解）教育（内容)」に対して「評価する」ということは，いったい誰が，何を，どのように，評価するのか，非常に定めにくい。それでも，私たちは語学教師である以上，常にと言っていいほど，学習者に対して明示的であり暗示的でありとも，ある種の異文化ないし文化に関わる情報を発信している。それらの明示的または暗示的な情報に対して学習者がどのようにその情報を受け入れ，理解し，対応していくかは，すべて学習者自身に関わる問題である。つまり，学ぶ主体は，常に学習者であり，教師はその学びの場をコーディネートする役目に過ぎないからである。したがって，語学教室の中で教師の果たすべき役割は，学習者が異文化に触れられる最大の機会を設けてあげることである。

以上を踏まえ，１年次の後期に行われる「ハングル２」の授業において，成績評価の基準[14]に，中間試験と最終試験の成績，平常点のほか，「発表」の項

14）2013年度後期「ハングル２」の成績評価基準は，試験（中間試験と最終試験）の成績が60％，平常点（小テスト，宿題，出席率，授業態度など）が30％，発表が10％の割合で構成されている。しかし，教員の裁量に関わる平常点の割合が高すぎるといった教員内の反省から，2014年度後期は試験（中間30点，最終試験30点，小テスト20点）と発表点10点，平常点10点の構成になっている。また，何をもって平常点にするかはクラス担当の教員が各自で定め，授業オリエンテーションの際，学生に知らせることにしている。

目を追加することになった。そして発表点のつけ方については，韓国語の教員間で意見を交わすこととなった。

3-1. 語学教室で行われる異文化理解のための授業形態

2013年度後期に行われる履修科目「ハングル２」のシラバスにおいて「相互文化理解」のための授業内容を「発表」というもので示すとともに成績評価の対象にすることで，授業担当者の間で実施内容についての調整が行われた。話し合いの中で，これまで各担当者が授業中に独自で行ってきた「異文化理解」に関する授業事例を取り上げてもらい，経験を共有することになった。その中でもっとも共通して見られた授業形態は，授業時間中に韓国映画を鑑賞したことであった。続いては，教科書に取り上げられたテーマにちなんで，または授業の進捗状況に応じて，担当教員が「異文化理解」のために補足の説明を口頭で伝えたり，関連するビデオを見せたりと，話の内容や所要時間などはクラスごとに異なる。そして，これまでの異文化理解に関わる授業内容は，評価の対象にはならないものがほとんどで，学生の興味を引く，またはクラスごとの授業進捗状況を合わせるために用いられた「余談的」または「予備的」な性格が強いことが伺える。そこで，参考例として教員間で一つの授業形態を共有するため，著者が以前から行ってきた「発表」関連の授業事例を示すことになった。その上，実際の授業では，各クラスの特性や状況に応じて，担当教員の判断で実施形態を決めていくことにした。2013年度後期の実施内容の詳細は，以下のとおりにまとめることができる。

表 1　2013 年度後期「ハングル 2」で行われた相互文化理解関連の授業内容

クラス	教員構成	文化授業担当者	実　施　内　容	評価者（配点(平均)）	フィードバックの有無と内容
1	NS-NNS	NS	学生によるプレゼンテーション	教員 15点（14）	発表後教員からのコメント
2	NNS(1)	NNS	レポート提出（韓国に関する本を1冊読んで感想文を提出させる）	教員 10点	教員（本の種類, 内容, 評価点, 注意点, さらなる関連本の紹介等）
3	NS-NNS	NS	プレゼンテーション（授業の後半）	教員 10点	教員など
4	NS-NNS	NS	プレゼンテーション	教員 10点（9）	教員
5	NS-NNS	NS	プレゼンテーション（授業の前半）	学生 10点(8.93)	学生のコメント, 教員のチェック
6	NS-NNS	NS	レポート	10点	
7	NS（1）	NS	レポート	10点	
8	NS（1）	NS	プレゼンテーション（授業の前半）	10点(8.71)	学生のコメント, 教員のチェック
9	NS-NNS	NS	プレゼンテーション	15点（14）	教員
10	NS-NNS	NS	プレゼンテーション（授業の後半）	10点	教員など
11	NS（2）	NS	プレゼンテーション	10点（9）	教員
12	NS-NNS	NS	プレゼンテーション（授業の前半）	10点（9.4）	学生のコメント, 教員のチェック

＊教員構成の枠の中の NS はネイティブスピーカー, NNS はノンネイティブスピーカーを表す。また,（　）内の数字はクラス担当教員数を示している

学期末, 各授業担当者から, 上記の授業内容に関して様々なコメントが寄せられた。なかには, 実施時期や効果を巡るものや, テーマ選定の問題, 学生への指示内容をより明確にすべきであるとの指摘などがあった。その一方で「学生の個性や独特な発想が目立つ発表内容であった」「発表授業に対する積極的・自主的な態度が見られた」「聴く側の学生も, 全体的に集中して発表を聞いていた」「韓国料理や東大門市場など, 教科書でも取り上げているテーマを発表するチームもあり, 教科書の内容と結びつくところは大変良かったと思う」などといった肯定的な意見も多数みられている。評価に関わる内容や学習者側の理解度・満足度を図る基準が依然不明なことなど課題は多く残されてい

るが，１回目のパイロット的な実施を終え，教員間で知恵を出し合って，これから一層客観的で効率的な授業計画が練られるのではと考えている。

3-2. 導入・中間・事後アンケート調査の実施背景とその内容

2012年度から適用された共通シラバスでの共通教科書，共通の最終試験を受け，韓国語の教員間では以前よりも増して授業に関する連絡事項や試験問題の作成等で連携の強化が図られるようになった。その上，新たに取り入れられた教科書が言語の４技能とタスクベースで綴られていることから，NS-NNSのペア授業と，NS一人が担当する授業，NNS一人が担当する授業間で担当教師の用いる言語[15]も異なっていれば，受講者の専攻や人数構成の違いによって，様々な反応や効果の違いがもたらされると考えられる。それらのすべての変数をより正確に理解し，今後の授業改善につなげていくために，韓国語の基礎クラスを中心に，導入時／中間／事後の３つに分けて授業アンケートを実施している。

まず導入時のアンケート実施について述べたい。「松山大学１年次向け言語学習意識調査（ハングル履修者対象）20○○年度版」というタイトルで，A4の紙１枚の両面に印刷されたアンケート用紙をもって，新学期の最初の授業オリエンテーションの時間に実施している。[16] 設問は，無記名の記述式で，全10問で構成されており，５，６分程度で十分答えられる分量となっている。学習導入時におけるアンケートの実施趣旨を説明するためにもその質問内容について簡単に触れておきたい。設問１と２は，大学入学前の英語以外の外国語学習経験について尋ねるものである。そして設問３と４は，松山大学の初習言語のうち第１希望の言語は何であったかを尋ね，さらにその理由について記述を求

15）日本語が主な指導言語のクラスもあれば，日本語を介さない韓国語の授業を試みたものがある。さらにペア授業ではNSとNNSが４技能の指導において役割分担を行っている場合もある。
16）クラスによってはオリエンテーション時にアンケート用紙を配り，次回の授業で回収する例もある。

めるものである。設問5は，「韓国」「韓国人」「韓国文化」「韓国語」について普段思っていることや印象について記述するもので，続く設問6は，授業中に取り上げてほしい「韓国文化」について書くようになっている。その他の設問7から10は，学習者自身の言語学習に対する姿勢や態度，学習成果に対する自己到達目標の設定について尋ねるほか，これからの韓国語の授業に対しての要望や提案等を尋ねた。上記の10個の設問のうち，本稿に最も関係すると思われる設問5の質問事項①～④の内容[17]及びその回答結果の一部については，次章で概略したい。

初習言語の基礎クラスは，前期から後期にかけての通年で授業が実施される。そのため，1学期の計30回の授業が終わった時点で，「ハングル1」の1年次のすべての受講者を対象に授業アンケートを行っている。通年で考えるとちょうど半期が終わった時期に実施されることから，便宜上「中間アンケート」と呼ぶことにする。中間アンケート[18]は，教科書や授業形態，小テストの実施等に対して学生がどれほど授業の性格を理解し適応しているのかを図るためのものである。2011年度から，設問の内容を見直しながら，前期の最終試験日に定期的に実施している。

事後アンケートは，年度末（後期）の最終試験時に合わせて実施されるもので，基本的には中間アンケートと同じ趣旨で行っている。しかし，前期と後期では学習内容が異なることや，学習経験に応じて語学力が上がっていくことを想定して，設問の内容もそれに合わせた形で修正を加えている。さらに，2013

17）**問5．『韓国』についてどのようなイメージ（印象）を持っていますか。自由に答えてください。**
　①『韓国』と聞いて，まず思い浮かぶものを3つ挙げてください。
　②『韓国人』について普段あなたが思っているイメージ（印象）を述べて下さい。
　③あなたの知っている韓国文化（韓国由来のもの，習慣，料理，社会体制など）には何がありますか。
　④『韓国語』に対するイメージ（印象）や，『韓国語』について知っていることを書いてください。

18）本稿では詳細を割愛する。回答データおよびその分析結果については紙面を改めて提示したい。

年度後期の「ハングル２」のクラスで「発表」の授業が導入されたことを受け，異文化や相互文化理解に対する学生の反応等を図るため，設問の中に文化理解に関連する内容を一部追加した。文化理解に関わるアンケートの回答結果は，改めて次章で触れたい。

4．「発表」の授業を通してみた相互文化理解の実態

ここでは，まず 2011 年度から 2013 年度にかけて行われた「ハングル２」クラスでの「発表」の授業内容について触れたい。その後，「発表」を受けての学生の異文化に対する感想や意見をまとめて紹介し，前章で触れた導入時と事後アンケートの結果とも照合して述べることにする。その上，異文化・相互文化理解を狙いとした「発表」形式の授業の限界や問題点についても触れたい。

4-1. 学習者の目標言語文化に対する興味・関心事

基礎クラス「ハングル２」の最初の授業で「発表」形式の授業内容に関する資料（「付録１」を参照）を配布し，その内容について簡単な説明をした後，学生同士での話し合いの場を一定時間設ける。そして授業が終わるまでに，一緒に「発表」をするグループのメンバーと，グループ名，発表テーマ（第１希望から第３希望まで記入）の大よそが決まる。教師は，次回の授業までに，各グループから出された発表希望日の調整を行ってその結果を知らせる。この流れで順調にいくと，後期が始まって３週間目から週１回の「発表」の授業が進められるようになる。中間試験や最終試験等の日程を考慮して，どのクラスも 10 回程度の発表で受講者全員が参加できるようにする。その際教師は，クラスサイズに応じて２～４名からなる１グループの人数を決め，可能な限りクラスごとに均等な人数で発表グループが構成されるよう調整を行う必要がある。

昨年度（2013 年）著者が担当した３つの基礎科目「ハングル２」から寄せられた発表の希望テーマをまとめると次の図１のようである。そのうち，実際各クラスで発表されたテーマは，韓国の観光名所を調べた「観光地」関連，韓

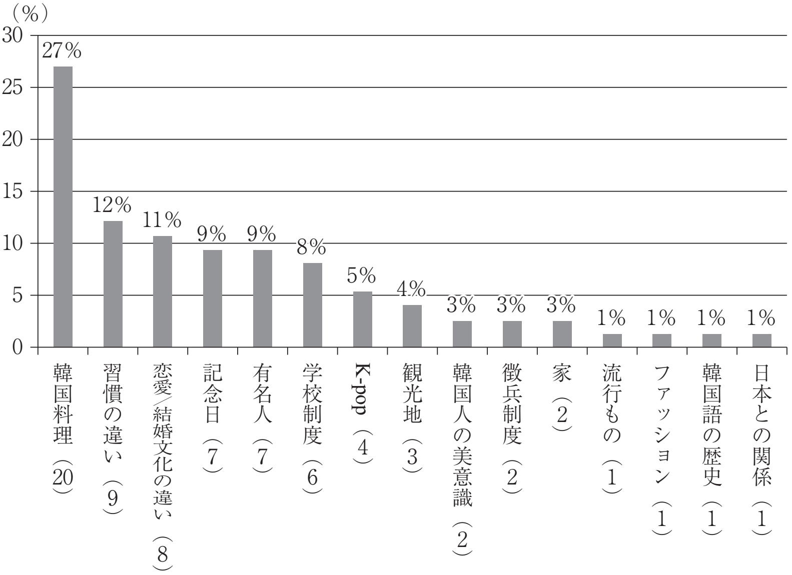


図 1　発表希望テーマの順位づけ

国の家庭料理から宮廷料理を含む「韓国料理」関連，記念日・祝日・休日に関わる「記念日」関連，恋愛と結婚をテーマにした文化の違いに関する「結婚と恋愛」関連，生活習慣や風習，マナーの違いについての「生活習慣と慣習」関連があり，これらの 4 つのテーマは，3 つのクラスすべてにおいて実際発表されている。その他，「K-Pop」「韓国の住居」「韓国の学校」「韓国の有名人」「韓国のファッション」は 2 つのクラスで共通して取り上げられている。また，「韓国のスポーツ」と「韓国語の歴史」をテーマとして選んだクラスが 1 クラスずつあった。[19)]

上記の結果を，2012 年度から 2014 年度にかけて行われた導入時の授業アンケート調査の結果（「表 2」を参照）と比較すると，学生にとって最も周知されている韓国の文化は「韓国料理」であると考えられる。同時に，「韓国料理」という文化項目に，最も学生の関心が寄せられていることが分かった。また，こ

こ３年間の傾向として顕著なのは，韓流関連の占める割合が確実に減っていることである。それとは反対に，僅かな傾向ではあるが，政治関連の数値は2012年度の６％から2014年度には９％のレベルにまで上がってきている。この結果については，マスコミの影響のほか，昨今の政治情勢が多少反映されたものと考えられる。参考までに，導入時の授業アンケートの別の設問（問６）においては，韓国文化に関連して授業中に取り上げてほしいものを述べてもらった。その内容の多数を占める「食文化」関連のものから，「男性の性格」といっ

表２　導入時アンケート「問５-①」の回答結果[20)]

テーマ別分類	2012	2013	2014
韓国料理	144（34%）	86（35%）	206（37%）
韓　　流	178（43%）	87（36%）	155（27%）
美　　容	25（ 6%）	20（ 8%）	44（ 8%）
政治・スポーツ	18（ 4%）	15（ 6%）	52（ 9%）
伝統・文化	24（ 6%）	17（ 7%）	61（11%）
そ　の　他	30（ 7%）	18（ 8%）	46（ 8%）
合　　計	100%	100%	100%

19）参考までに2011年度３つのクラスでの発表テーマは，「観光名所（2）」「整形（2）」「結婚と恋愛（2）」「韓国の歴史」「韓国のマナー」「学生のファッション」「軍隊」「記念日」「韓流ドラマ」「韓服（伝統衣装）」「韓国で人気のある韓国映画」を合わせた計27個であった。2012年には，「K-Pop（2）」「学校制度（2）」「韓国料理（2）」「韓国の有名人」「日本で有名な韓国芸能人」「韓国人の美意識」「整形事情」「韓国の家」「観光名所」「軍隊」「結婚・生活習慣」「祝日」「若者ファッション」を合わせた計16個のテーマが選ばれ発表された。

20）表中のテーマ別分類の詳細は以下のようである。
- ・韓国料理：キムチ，トッポギ，海苔，ビビンバ，焼肉，プルコギ，マッコリ，チョングッチャン，参鶏湯，スントゥブ
- ・韓流：K-Pop，ドラマ，アイドル，芸能人，映画，映画監督
- ・美容：整形，化粧品，オルチャン，外見
- ・政治・スポーツ：反日，政治問題，竹島問題，日韓関係，北朝鮮，サッカー，野球，キム・ヨナ，パク・チソン，キ・ソンヨン
- ・伝統・文化：韓服，ハングル，テコンドー，朝鮮王朝，ソウル，釜山，歴史，スッカラッ文化
- ・その他：安い，近い，教育熱，兵役，赤色，怖い，小さい，サイバーテロ，愛国心，寒い，性犯罪，三星（Samsung），現代（Hyundai），LG，ロッテ

た少数のものまで，非常に多種多様なものが挙げられていた。

4-2. 「発表」の授業内容に対する学生の反応

2013 年度後期の「ハングル 2 」の授業では，3 つのクラスで計 27 個の「発表」が行われており，そのテーマについては，前項で述べたとおりである。以下では，各クラスで使用された発表のテーマに対し，異文化に接した学生それぞれの感想や意見を記しておく。[21] また，その内容について，授業担当者として感じたことを追記しておきたい。

〈2013 年度後期に行われた「発表」授業に対し学生が評価シートに書いた感想のまとめ〉

《観光地ツアー》

1 韓国だけあって韓流ドラマのさつえいの場所も観光地になっていて女性に人気そうだなと思った。

2 N ソウルタワーがとてもキレイで行ってみたいと思った。

3 松山空港から韓国への直行便が出ていることを初めて知った。

4 松山から韓国に行く飛行機があることも知らなかった。

5 松山空港から 100 分で行けるのを知ったので一度行ってみたいと思った。

6 韓国にいったいどんな場所があるのか知らなかったけれど，今回のことでよく分かりました。

7 松山から直行便がせっかくでているので，ぜひ行ってみたいです。

8 日本と韓国は近いということは知っていたけど，飛行機で 100 分で行ける距離にあるとは知らなかったのでびっくりしました。

9 韓国に行くのに 2 時間もかからないことに驚きました。

10 韓国なのでやはり焼肉がおいしそうだった！

11 授業でもよく出てきたロッテワールドには興味があったが，思っていた以上に大きくてびっくりした。

12 隣りの国だけど，知らないことばかりなので，韓国旅行にも行って韓国の文化にもっと触れたいと思いました。

21）ここでまとめられた感想や意見は，一部漢字ミスを訂正したのを除き，実際学生が「発表」の授業時間内で書いた文や文章をそのまま載せている。

13　松山から韓国の仁川空港まで 100 分で行けることを知った。意外とすぐ着くなと思った。
14　日本から韓国まで 100 分で行けるとはびっくりしました。
15　ずっと教科書に載っていて気になっていたロッテワールドの紹介もあり，行ってみたいなぁと思いました。
16　意外に松山からすぐ着くとわかったし，安く行けそうだということも知りました。

《韓国の観光スポットランキング》
17　ハングルのテキストでよく見る写真の場所も多く含まれていて，へぇーとなるような内容で，おもしろかったです。
18　韓国の観光スポットには宮殿やお寺が多いと感じました。そのなかにはくぎも使わずに建てている建物があると知って驚きました。
19　南山の N ソウルタワーは教科書で見かけたことがあったので驚きました。
20　第一位の水原華城は，最初意外だなと思ったけど，イ・サンの撮影場所だと聞いて納得でした。
21　やはりどの国にもその国独特の美しさがあり，韓国もまた韓国独特の美しさで，生きているうちに一度は足を運んでみたいと思いました。
22　韓国に限らず世界各国様々な場所に旅をしてみたいと思います。

《韓国の観光スポット》
23　約 10 か所の世界遺産があることは知らなかった。
24　教科書で出てきて，地名しかしらない都市の写真を見ることができて，理解が深まりました。
25　韓国に世界遺産が 10 か所もあるとは知らなかった。

《韓国の食べ物》
26　宮廷料理は辛くないのはびっくりした。
27　ホットクをつくっていて，韓国のおやつの味を知ることができてうれしかった。
28　宮廷料理は辛くないと知って少しおどろきました。韓国料理はほとんど辛い食べ物だと思っていたからです。
29　韓国のかき氷は，くずして食べるのはいやなのでかき氷は日本のがいいなと，思いました。
30　韓国でも日本と同じように冬には鍋が人気ということを知り，日本と似ているなと思い

ました。

31　辛い食べ物が苦手な私でも食べてみようかなという気になりました。

32　韓国料理はからいものだけだと思っていたけれど，からくないものもあると知っておどろきました。

33　宮廷料理の話を聞くと昔見ていたチャングムの誓いを思い出しました。

34　韓国といえば辛い食べものばかりかと思っていたが，種類が多くあって驚いた。

35　印象にのこったのは，春にいちごをトラックで売りに来ることがあるということ。日本とはちがう文化にびっくりした。

36　韓国料理は見た目や健康にとても気を使っているので，韓国料理が人気な理由がわかった気がする。

37　かき氷は混ぜてしまうと見た目が悪い気がしましたが，韓国と日本の文化の違いなんだと思った。

38　料理は日本とは調味料などの点で大きくちがっていたけど，デザートは似ているなと思いました。

39　韓国の食べ物といえば「赤くて辛い」というイメージしかなかったけど，色とりどりの「五味五色」の宮廷料理を紹介してくれてよくわかった。

《韓国料理》

40　マナーについては，目上の人より先に料理を食べてはいけない事や，お酒を目上の人の前で飲んではいけないことなど，日本とは違う文化を学べた。

41　食事のマナーとかは初めて知るものがありました。

42　韓国も日本と同様礼儀が厳しく感じました。

43　今まで韓国料理はからいだけというイメージがありましたがいろいろなルールやマナーに従って作られ，食べられていることを知りました。

44　日本のように郷土によって味がちがうということで，日本と似ていて，親近感がわきました。

45　日本とは，マナーが結構ちがうんだと思いました。

46　トッポギが韓国の料理だとはじめて知った。

《韓国の食文化》

47　年上の人が食べおわるまで食べれないと聞いて，文化の違いを感じた。

48　日本とは違った食生活でびっくりした。

49　韓国での食事のマナーを知らなかったので勉強になった。日本とは違ったマナーがたくさんあり驚いた。
50　冷たい熱いで配置が変わるのは驚いた。
51　わかめスープが誕生日にふるまわれるような食事だと知らなかった。
52　はしの持ち方が日本と一緒でおどろきました。

《記念日・祝日》
53　日本でおもちを細長くしているのはあまり見ないので変だなと思いました。
54　ブラックデーは残酷だなと感じました。
55　父母の日は素敵です。日本もそうしたらいいのに‼
56　「偉大なる文字」ハングルにそんな意味があったなんて知りませんでした。
57　儒教の色が濃く残っているためか，親や祖先，目上の人を敬う記念日が日本より多かったように感じました。
58　一番驚いたのはブラックデーでした。日本にはない記念日で内容が面白いものでした。
59　「ハングル」=「偉大なる文字」も初めて知りました。
60　韓国独特の行事を見ることができておもしろかったです。
61　“ハングル”という言葉の意味などもとても勉強になりました。
62　成人の日があるのは同じだけど，中身は大分違うということに驚きました。
63　色々な記念日があって，楽しそうだなと思いました。
64　父母の日の時，会社員がプレゼントにかけるお金は日本の約4～5倍だったので，本当に父母を大事にする国だなと思った。
65　成人の日は祝日ではないと知って驚いた。そしてやっぱり日本と似ているところが多いなと感じた。
66　ブラックデーという日があるのを初めて知りました。恋人がいない人だけが食べるというのはとてもユーモアがあって，日本にはないのでおもしろいなと思いました。
67　日本と韓国は似ているという印象があるので，祝日も同じのが多いのかなと思っていたけど，韓国特有のものや，日本にはないユーモアのあるものがあっておもしろかったです。
68　韓国にも，日本と同じような行事はあるけど，旧正月やブラックデーがあることを初めて知りました。
69　韓国には，ハングルの日というものがあることも初めて知りました。
70　ブラックデーはとてもおもしろいと思ったので日本にもあればいいのにと思いました。
71　私が韓国人だったら毎年ブラックデーにチャジャンミョンを食べてると思います。

72　父母の日は儒教の思想が大きく関係しているのだろうなと思いました。

73　ブラックデーが日本にも広がることを切に願います。

74　日本では正月を大事にするけど，韓国は旧正月の方が大事にされている。

75　親に対する贈り物のお金が日本と違ってびっくり。それくらい親を大事にしているんだと思った。

76　日本には日本語を祝うという日はないので，文字を大切にするという考えはないのかなと思いました。

77　日本と似たような記念日が多くて親近感がわいた。

78　父母の日に贈り物にかけるお金や日本よりも高いところが日本よりも親を敬う韓国ならではだなと思った。

79　韓国ならではの祝日や記念日はとても新鮮で，知らないことをたくさん知れてよかった。

80　ソルナルという行事は初めて知りました。旧正月が大事にされていることは知っていたけど，名前までは知りませんでした。

81　父母の日には親同然の人にもプレゼントをあげるのは，日本にあまり見られないことだと思った。

《韓国の休日》

82　旧正月（ソルナル）を韓国の人たちは盛大に祝うことにも驚きました。お正月は国によって違うんだなあと思いました。

83　韓国と日本の違いは韓国はキリスト教徒が多いので，クリスマスは祝祭日となっていると聞き，絶対にその日は人が多いと思いました。

84　韓国でも日本でも若い人たちなどは何のためにその日が祝祭日になったのか分からない人が多いのは変わらないのだと思いました。

85　日本と韓国とで，結構，祝日の日が違うことに驚きました。

86　韓国の休日は，変わったものが多くて面白いなと思いました。

87　日本の祝日が韓国みたいに減ったら嫌だなーと思った。

88　韓国の祝日が減っているということを知り，驚いた。また，日本とは違った祝日があったので，おもしろかった。釈迦誕生日など。

89　ハングルの日があるというのに驚きました。日本語の日もできてほしいです。

90　韓国はとても愛国心が強いんだなと休日になった理由から伝わってきました。

91　日本以外でも年賀状を出す習慣があることを知った。

92　こどもの日とか，日本と同じ休日があるということで，少し親近感がわきました。

93　日本と韓国の正月の日が同じなことに驚きました。子どもの日も日本と同じようにあって親近感がわきました。

94　ハングルには長い歴史があることが分かりました。

95　日本の祝祭日についての由来も調べてみたい。

96　お正月の休みが少なくて韓国で生活するのはいやだなと思いました。

97　こどもの日など，日本と同じ祝日もあるけど，違う日の方が多くて，韓国の文化を知れた。

98　祝日はなくなせるものだと初めて知った。

99　国によって祝日は数も違えば内容も全然違うことが改めて分かりよかった。

100　旧暦の習慣があるというのは日本との大きな違いだと初めて知った。

101　日本と同じように 5 月 5 日がこどもの日と知って驚いた。

102　日本と同じ祝日や習慣もあることがわかった。

103　日本と同じこどもの日があるということに少し驚いた。

104　儒教の国だと思っていたのでキリスト教徒が多いのは意外だった。

《韓国の恋人の記念日》

105　ジャージャー麺，食べるしかないと思った。

106　韓国にはたくさん記念日があって楽しそうだなあと思った。

107　サプライズなどあってうらやましいなあと思った。

108　ブラックデーやイエローデーなどがあるのがおもしろいと思った。

109　多くの記念日があり，日本の文化との違いがけっこうあった。

110　楽しさの中にも人々を気づかっているのがみられてよかったと思う。

111　韓国の記念日の多さには大変おどろいた。

112　記念日をわすれると，別れの危機というのは，大変だと思った。

113　韓国の男性はアプリをとったりするなど大変だなと思いました。

114　日本とは全然違う文化ですごくおもしろかったです。

115　100 日記念日などは知っていたけど，あんなにたくさんの記念日があることを初めて知りました。

116　韓国は日本とちがって，まめな人が多くてうらやましいです。

《韓国の結婚》

117　夫婦別姓なのは日本と大きく違う点だと思いました。やはり目上の人を重んじる儒教

の教えが深くねづいているのだと思いました。

118 結婚指輪は夫の母親がプレゼントをするのが不思議でした。なぜそういうのになっているのか，とても知りたいです。

119 夫婦別姓だということにとてもおどろきました。また，お互いの両親がお金を負担していることにもおどろきました。

120 指輪を夫の母が買ってくるというのは日本ではあまりないと思うので，差を感じました。全体的に日本とは差があることが分かりました。

121 結婚指輪が派手なことに驚いた。

122 韓国の伝統婚礼衣装すごくかわいかった。

123 日本よりも韓国の方が結婚式に力を入れていることがわかりました。

124 披露宴をしなかったり夫婦別姓であることは初めて知り，日本との違いを興味深く感じました。

125 いろいろな伝統儀式があり，日本よりもたいへんそうなイメージを持ちました。

126 日本とかなり結婚の決まりがちがうことを初めて知りました。

127 結婚式の費用をだいたい親が出すことに驚きました。式を挙げるということを重要視していて日本と考え方がかなり違うなと思いました。

128 親を大切にする所や親を尊敬するという意識が，子どもの結婚式にもかなり影響していて，特に式に両方の母親が手を繋いで入場するということに衝撃をうけました。

129 日本でも人によって盛大な結婚式を開くけど，韓国は習慣として盛大な結婚式を開くことに驚きました。

130 一番おどろいたのは，結婚するのに必要なお金（指輪も含めて）は新郎の親が，とか新婦の親が，と分かれていることでした。

131 韓国と日本は共通点が多くあるイメージでしたが，結婚については異なる点が多いことが分かりました。

132 日本は晩婚期など社会問題にまでなっているけど韓国はどうなのか気になりました。

133 韓国の結婚式は，とても伝統的だと思った。家族との関わりを大事にしていて素晴らしいと思う。

134 いろいろな意味のある儀式があって面白かった。伝統を大切にしていることがよくわかった。

135 自分の祖先を大切にしているのが伝わった。

136 結婚費用も結婚指輪も両親の方が関わっていて驚きだった。

137 韓国の結婚に関しては，式を挙げるにも家や家具を準備するにも互いの両親がお金を

負担してくれるのがいいと思った。これからの両家の関係も良好になりそう。

138　指輪までもが親というのはちょっとどうかと思った。

139　夫婦別姓だということを初めて知ったのでびっくりしました。

140　血のつながりを重んじていることは韓国ドラマなどで感じていましたが，実際姓にも表れているのだと知ることができて良かったです。

141　結婚式の流れも日本とは全く違うことにも驚きました。

142　日本人からすると少し変わったと感じる式だということもわかり勉強になりました。

143　両親が結婚費用や家，家具の費用を負担することに驚きました。

144　夫婦別姓や血縁関係の問題など日本に比べてしばりが多くて厳しいように感じました。

145　形式的な流れ全てに意味があって，隣の国でもこんなに違いがあるのだと分かって，おもしろかった。

146　一番おどろいたのは，結婚しても夫婦別姓だということです。

147　結婚式の流れも日本とは多少違っているところも新鮮でした。

148　韓国の人は，結婚をするのが当たり前で，結婚費用や相手側への贈り物などの費用を親が負担することも当たり前と知って，日本とは少し違うなと思いました。

149　韓国では，結婚式にこだわっていることがよく分かりました。

150　ペベクは，日本とは違うんだなと思いました。

151　ウェディングドレスは韓国でも着ることに驚きました。

152　日本の結婚式と同じでウェディングドレスも着るんだなと思いました。

153　親がお金を払ったり，指輪も買ってあげたり，子供のことを大切にしている国なんだなと思いました。

154　両親が結婚式の費用を借金をしてまで負担するというのは，それほど親が子どもを思う気持ちが強いのだとおどろいた。

155　式においても少しずつちがっていて，母親たちが手をつないで入場するのはユニークでおもしろい！

156　ペベックについてははじめて知った。韓国ドラマなどで機会があればよく見てみたいと思う。

157　新郎が新婦をおんぶしたりとおもしろい変わった伝統があるんだと思った。

158　両親が結婚費用を出すことについては，おどろいた。

159　夫婦別姓は，あまり日本で見られないので，やはり国によって文化は違うんだなと改めて思った。

160　同じ名前の人との結婚ができないというのは驚いた。

161 日本とよく似ている部分もあったのでもっと詳しく知りたいと思った。

162 結婚費用は両親が負担するそう。借金してでも負担するようでびっくりした。

163 家族（両親）がお金を出して式を行う。借金をしてまで子供のことを祝福するのはとても温かい国のように思いました。

164 結婚しても夫婦別姓なのは，なんとなく知っていたけれど，どうして別姓を名のっているのかは知らなかったのでスッキリしました。

《韓国の恋愛，結婚について》

165 日本に比べるとかなり韓国の方が厳しい恋愛なのかなと思った。ドラマとかの印象が強かった。

166 血縁の話など小さい国だから大変そうだと思った。

167 毎月 14 日に何かあってびっくりした。

168 日本と韓国の文化の違いがよく分かった。

169 韓国は恋愛に対して真面目だと思いました。相手に大事にしてもらえるのでとても良いと思いました。でも親がとても干渉してくるのは嫌だと思いました。

170 日本と韓国は似ている国なので違いはそんなにないと思っていたのですが，今回のプレゼンテーションで韓国の恋愛や結婚の事情が日本とはだいぶ異なるのだということが分かりました。

171 不倫がタブーで真面目な所が日本と違い良いと思いました。また付き合う＝結婚という考え方も日本と違う所だと思いました。

172 韓国での恋愛は，ドラマのロマンチックなイメージがあったけど，その通りだったし，男性がデートの費用を負担することや，付き合う＝結婚という考え方も素敵だと思った。

173 日本は不倫・浮気が普通にあるし，結婚まで考えず付き合うカップルがほとんどだから，韓国の真面目な恋愛がうらやましくなった。

174 恋愛の考えが日本とは全然違っていておもしろかった。

175 結婚という考え方がとても強いのでびっくりしました。

176 両親の関わりが多いので嫌だなと思いました。

177 韓国の結婚式は変わっているなと思いました。

178 日本と韓国の恋愛・結婚事情は全然ちがっていてびっくりしました。

179 日本よりも恋愛・結婚生活を楽しむことができないんだなあと思いました。

180 韓国では日本と違って恋愛に関してかなりシビアに考えていることが分かった。

181 韓国の恋愛は総合的に見ておもいと思った。

182　韓国では付き合う＝結婚という感覚があるということに驚きました。
183　恋愛に関して，日本と比べてだいぶ真面目だと思いました。
184　日本よりも恋愛のことを重視していると感じました。
185　姑問題は日本も厳しいと思っていたのに，韓国はもっと厳しいと知って驚いた。
186　結婚にも儒教が影響しているのだと思った。
187　不倫がタブーとかプロポーズがロマンチックとかデートで全部おごってくれるとか韓国の人と結婚したいと思った。
188　毎月 14 日が恋愛に関する記念日で，日本にはそんなのないから韓国おしゃれやなーと思った。
189　韓国は日本よりももっと学歴社会だということが分かった。そのため大学生になるまで恋愛をするひまもないほど勉強をしなければならないことも分かった。
190　全体的に日本と少しずつちがっているところが印象的でした。
191　恋愛に対してまじめな人がとても多かったり，男性がデート代を払ったり，家族ぐるみであったり，驚くことが多かったです。

《韓国の結婚について》

192　韓国と日本の結婚のちがいがすごくあってびっくりした。
193　結婚式が安いことにびっくりでした。日本にない服装がありました。
194　韓国は夫婦別姓なのは驚いた。
195　ウェディングドレスや指輪の面でも日本と異なる点が多くみられた。
196　夫婦別姓のことがとてもおどろきました。
197　ドラマで韓国の結婚式の様子を見ていたので詳しく知れて良かったです。
198　日本より韓国の方が結婚式はきまりが多いなと思いました。
199　名字も韓国は少ないので，いろいろ大変なんだなと思いました。
200　韓国と日本の違いが多くあっておもしろかったです。
201　主礼の存在は知らなかったので少し驚いた。
202　日本とだいたい似ていたが，主礼をつけたり，お祝儀が日本の 1 /10 だったり，姓を別に名のったりと，違う所も多くみられた。
203　日本と同じような結婚式だと聞いてびっくりしました。

《韓国の風習や習慣》

204　誕生日にわかめスープを飲むというのには驚いた。韓国ではわかめスープが特別なん

だと思った。

205 韓国の誕生日もケーキだと思っていたので驚きました。韓国人と日本人の考え方がけっこう違っていた。

206 誕生日にはケーキではなくてわかめスープを食べるという慣習は日本とは全く異なっていてびっくりした。

207 恋愛事情においても日本とはやっぱり違うのだなあと改めて思った。

208 デートでペアルックはすごい恥ずかしいけど，割り勘がないのはいい！

209 韓国人の風習とかを知っておかないと，旅行とかしたときに恥かくと思った。

210 兵役と誕生日については，日本とちがいすぎて意外でした。

211 おふろがシャワーだけというのはきいたことがあったけど日本みたいにゆぶねにつからないのはびっくりです。

212 やっぱり外国だから文化とかにちがいがあると知って，韓国語をならう上で生活も理解したいと思いました。

213 恋愛事情については韓流ドラマはやたらバッドエンドが多い気がするのでその理由が知りたかったです。

214 2年間も兵役に行かないといけないなんて，すごく辛いと思った。

215 誕生日にはやっぱりケーキを食べたいと思った。

216 日本はほとんど共学なのに，韓国では少ないことにびっくりした。

217 誕生日にワカメスープを飲む習慣があることに驚きました。私だったらケーキのほうがいいです

218 風習，習慣では日本とあまり変わらないのではないかと思っていたので，意外にちがいが多くて驚きました。

219 イベントが多いのはおもしろそうでよいと思います。日本ももっと韓国の影響を受けていくと，楽しいだろうなと思いました。

220 誕生日にワカメスープを飲むことは，日本人からしたら少し寂しい気もするが，これも文化の違いだと思った。

221 デートの時に男性がお金を全て払ってくれるのは男らしくてとてもかっこういい。日本の男性も見習うべきだと思った！

222 誕生日にワカメスープを食べるというのは初耳でした。

223 国が近いので習慣は似ていると思っていましたが，全く違うことが分かり驚きました。

224 兵役は日本にはないので，内容を聞いて本当にない文化で良かったと感じました。

225 最も驚いたのは，誕生日にワカメスープを食す，ということでした。日本などと違っ

てケーキなどでお祝いをしないのかどうかが気になりました。

226　韓国といえば兵役があることが有名で，俳優など有名人はどうしてるのか疑問だったけど，やっぱり何かと理由をつけて逃れるんだなと思いました。

227　日本には兵役の義務はないので，隣の国である韓国で，その厳しい義務があるのは少し違和感があると思いました。

228　誕生日では，わかめスープを飲むというのは少し知っていましたが，日本でいうケーキのような存在であるというのは驚きでした。

229　お隣の国なのに知らないことがたくさんあって，これからもっと知りたいと思いました。

230　日本の隣の国なのに日本とは全くちがう文化や習慣があり，興味を持ちながら聞くことができました。韓国の文化をもっと知りたいなと思いました。

231　今の自分と同じ年齢で兵役が韓国であるのは大変だと思った。

232　誕生日にケーキではなくわかめスープを飲むのがおもしろかった。

233　韓国はいろいろときびしそうな国だなと感じた。

《韓国の習慣と慣習》

234　服のまま寝るとか，ふとんを洗うとか，韓国の文化をまた新たに知ることができました。

235　パジャマを着る習慣があまりないことは知らなかったのでびっくりしました。

236　日本人は一人でご飯を食べる人が多いけど韓国は違うのだと思った。また，食器を持ち上げてはいけないのは不便だと感じた。

237　廊下がない家には私は違和感をすごく感じた。

238　住宅で木造はあまりないというのが意外でした。

239　韓国は服のまま寝たり，洗濯機を使わずに手洗いしたり日本との習慣の違いを知れてよかった。

240　日本と韓国の習慣は似たようなもので違いはそんなにないと思っていたのですが，こまかく見てみるとびっくりすることもあるのだなと感じました。

241　唐辛子を生で食べることもあるということで驚きました。

242　冬でも家の中は半そで，短パンで過ごしているというところも驚きました。

243　韓国の人は人と一緒にご飯を食べて，食事を楽しむと知って，あ，それいいなと思いました。

244　床が温かいみたいなので寒がりな私にとってはうらやましいです。

245 韓国の食事の習慣で食事で他人とコミュニケーションをとるため，一人で食べないと聞き，毎回楽しそうだなと思いました。

246 韓国の住居のことでオンドルがあるから寒い冬でも半袖，半パンで過ごせるのがいいと思いました。

247 韓国では洗濯機を使わなかったり，布団を干す習慣がないことにはびっくりしました。

248 食習慣は，日本と比べて栄養バランスがいいということが分かりました。

249 韓国は洗濯機を使わず洗濯板で服を洗うという習慣があるらしく大変だなと思った。

250 今でも洗濯板を使っていることが多いのはびっくりした。

251 布団を干すという習慣がないのはびっくりした。

252 韓国では玄関を入るとすぐに居間があるのはおどろきです。

253 地理的に近いが，気温がまったく違っていることに驚いた。

《韓国の習慣とマナー》

254 日本との違いがたくさんあってびっくりしました。お酒を飲むときはめんどくさそうだなと思いました。

255 お酒のつぎ方や飲み方などは今後役に立つこともあるかもしれないのでおぼえておきたいです。

256 同じ箸を使うのに日本では当たり前なことでも韓国では失礼にあたることがあるので気を付けようと思った。

257 日本では悪いとされているマナーが韓国では良いマナーとされることが多くおどろいた。

258 日本では行儀が悪いと思われることが韓国では普通だということに驚いた。

259 日本と韓国のマナーや習慣が全くちがうということにびっくりした。

260 韓国の食器は金属製であることが新鮮だった。

261 伝統的な座り方があぐら（スカートでも）なのが驚いた。

262 ごはんの食べ方やお酒の飲み方など韓国と日本の文化の違いをあらためて感じた。

263 ペアルックの文化がうらやましい。

264 お酒の注ぎ方にも違いがあるのだと驚いた。

265 韓国ドラマでよくお酒を飲むときにちょっと横を向いて飲んでいたので気になっていました。今日理解することができました。

《K-Pop》

266 日本では K-Pop と普通に言ってるけど韓国では言わないということを初めて知った。

267 K-Pop の特徴を聞いて確かにどの曲にも共通しているところがあると思った。

268 K-Pop が日本に入ってきた由来や，なぜ日本で人気なのか理由がとても分かりやすかったです。

269 韓国演歌というものがあるのは初めて知った。

270 自分自身 K-Pop にあまり興味がないのであまりわからなかったけど，これを機に K-Pop を少しでも聴いて行こうかなという気になった。

271 日本の Tsutaya にたくさん K-Pop の CD が置いてあってこんなにあるんだと少しおどろいた。

272 K-Pop もきいてみたいと思いましたが，韓国の演歌のトロットュも 1 度きいてみたいと思いました。

273 韓国でも演歌というジャンルの歌があることに驚いた。

274 韓国人の商売の仕方がうまいなと思いました。

275 そんなに K-Pop を詳しく知らなかったけど，興味をもったので今度 You Tube でみてみようと思います！

276 K-Pop に全くといっていいほど興味がありませんでしたが，プレゼンを受けて K-Pop の特徴が分かり少し興味がわきました。

277 みんなが K-Pop についてもっと興味をもってほしいです。

《韓国の住居》

278 オンドルが韓国に人にとってどれだけ重要かよく分かった。

279 韓国ドラマではいつも白い息を出していて，寒いだろうなと思っていて部屋も寒そうだったのでゆか暖房がついていることを知って安心しました。部屋に入ってどれぐらい暖かいのか入ってみたいです。

280 韓国でマンションと言わずアパートと言うことを初めて知りました。

281 韓国では保証金は契約が終わったら返してくれるのでいいなあと思った。

282 ソウルは日本よりとても寒いことにびっくりした。

283 床暖房のオンドルがとてもいいと思いました。我が家にも欲しいと思いました。

284 韓国は日本より平均気温が 2 度以上も低いことに驚きました。

285 寒い気候に対応するためオンドルを使用していることを初めて知りました。

286 韓国の寒さを体感してみたい。

《韓国の建物》

287 韓国と日本の家は似たような造りをしているのかと思っていたけど全然違うことが分かりました。

288 韓国は日本よりも家で快適に過ごせるための工夫がされているんだなあという印象をうけました。

289 いいなと思ったのがオンドルです。部屋をあたためるだけでなく，じょ湿がわりにもなるみたいなので便利でいいなと思いました。

290 居間が家に入ってすぐにあるのはかなり抵抗を感じた。

291 オンドルがあれば冬でも半そで半パンで過ごせると知って私もほしいと思った。

292 冬に半そで半ズボンでいれるというのはびっくり。オンドルというものを欲しいと思った。

293 マルは本当に日本の昔の家に似ていたので日本人にとってもとても落ちつくのではないかと思いました。

294 ドアを開けたらいきなり居間があると聞いて驚きました。日本では考えられないと思いました。

295 韓国の伝統的な建物に1回でもいいので行ってみたいです。歴史を学びたいと思いました。

296 伝統的な木のつくりの家すんでみたいと思うぐらいすきです。

297 韓国は家族主義を重んじるためこのような間取りになったことがわかった。

298 玄関を抜けるといきなり居間があったりと日本とは全く違うことばっかりで楽しかったです。個人的にはその家は住みたくないです。

299 玄関に入るとすぐに居間があるというのはびっくりした。

《韓国の学校について》

300 進学率などから日本と比較するとやっぱりすごい学歴社会なんだなと改めて思いました。

301 韓国の高等学校の制服もかわいいのがたくさんあって，日本ではありえないような制服でおもしろかったです。

302 制服がとても特殊で興味がわきました。日本の制服は統一的なのでぜひ取り入れてもらいたくなりました。

303 韓国の勉強に対する意識の高さが想像以上であったことに驚きました。

304 給食にキムチが毎日出るのはさすが韓国だと思いました。

305 部活がなく勉強だけをする学校はちょっとさみしいなとも思いました。
306 私はキムチが好きなので韓国の給食を食べてみたいなと思いました。
307 制服も日本にはないような形や色ですごくかわいらしいなと思いました。
308 制服が日本よりかわいくてうらやましかったです。
309 韓国の制服はすごくかわいいけど校則など厳しいのだと思いました。
310 アルバイトや部活動まで禁止なのは厳しすぎると思ったけど超学歴社会なら仕方ないのかなと思った。
311 同じアジアの地域にある国どうしなのに学びに対する取り組み方が違うように感じた。
312 韓国人の人達の英語がたん能な理由もわかりました。
313 部活動がないのは少しはさみしいなと思った。
314 制服が特徴的なのがとても驚いた。かわいいと思う。
315 韓国の制服がとてもかわいくてうらやましかったです。
316 英語の学習開始がはやかった。日本語も勉強できるのは知らなかったので驚きでした。
317 運動して気分転換しないとストレスがたまりやすそうだと思いました。
318 運動しないで勉強ばっかしなのは私は無理だと思った。
319 日本とはちがって小学校で英語の勉強を始めるなんてさすが教育熱心な国だと思った。

《韓国の学校教育について》

320 小学１年生から英語があるのは，日本はまけていると思った。
321 先生が生徒をなぐることがあるというのは，怖いと思った。
322 韓国でも制服があり，派手なものが人気だと思った。
323 制服のスカートみじかいなー。
324 有名人も高学歴大学出身の人が多いことも驚きました。
325 韓国は日本よりも学歴にうるさいということは知っていましたが，出世にも関わるとは思いませんでした。
326 制服も日本と全然違っていて文化の違いがよく分かった。
327 韓国は学歴社会だと聞いていたけど，大学への進学率が思っていたより高くてびっくりしました。
328 ほとんどの学生がメガネをかけている，というのがおもしろかった。
329 韓国の制服はコスプレみたいでかわいいなーと思った。
330 芸能人のみんな大学に進学していてびっくりした。

《韓国の有名人》

331　韓国人の歌手や女優は，今や若い人なら 1 人は名前がいえるくらい日本で有名で，メジャーな存在になったのではないかと思います。

332　これからも世界各国で韓国の人が活躍する場が増えたらいいのとともに日本人も負けずがんばってほしい。

333　日本と韓国では美意識のベースが違うということに少し驚きでした。

334　日本と韓国がアイドルに求めるものの違いに一番おどろきました。

335　韓国と日本で美人の観点が全然ちがうんだと思った。

《韓国のファッション・美容》

336　韓国人の女性は，美人で色白なイメージが一般的にも強いと思います。

337　美容に対する意識が日本よりも強いことがわかりました。

338　親に整形をすすめられるのはつらいなと思った。

339　韓国と日本のファッションのちがいがこんなにもあるんだということが意外でした。

340　韓国人のほとんどが整形をしていて整形費用は親が払ってくれる。

341　韓国人はきれいというイメージがあったけどその理由として食事があったのが意外だった。

342　整形をする人が多い韓国だけどその分美意識が高いと思った。

343　整形は男女共に行い，堂々と公開するのには驚きました。日本とは全く違う文化だなと感じました。

344　韓国人は確かに肌がきれいなイメージがあります。国によって食文化も違うのでその影響は大きいのだと思いました。

345　整形で親が費用をだしてくれるのは驚きでした。

346　韓国人の男性が眉毛の手入れをしないことに驚きました。

347　キムチには美容に良い栄養素が多く含まれていることは初めて知った。

348　整形については有名だが顔で就職活動が左右されるというのはおどろいた！

349　美容のためにカタツムリを使用する熱意はとてもすごいと思いました。

350　キムチと美容の関係を初めて知ってびっくりした。

351　垢すりもおもしろそうなのでやってみたい。かたつむりのパックはちょっと嫌だと思った。

《韓国の美》

352　韓国が他の国に比べて美容整形が広く行われていることは有名ですが，女性と同じように男性もしたいと思っている人が多いことにおどろきました。

353　韓国では化粧をする男性が増えていると聞いて驚きました。

354　化粧をする男性…正直引きますが，どれぐらい男性がキレイになるか知りたいです。

355　韓国では整形の感覚が日本とは違いかなりの人に受け入れられていてびっくりです。

356　韓国と日本とでは整形に対する思いが相反することがわかった。

357　整形がそんなに広まっているとは驚きでした。

358　キムチがすっぱいのが一番いいと聞いて驚きました。

359　美容整形手術に賛成すると回答した大学生が 93%もいたことにとても驚きでした。

360　デートで足湯やマッサージサロンに行くとはびっくりしました。

361　韓国と日本の美に対しての意識が大きく違うことに驚いた。

《韓国のスポーツについて》

362　ゴルフは国をあげてやっていることが驚きだった。

363　ゴルフの選手で韓国人が多いとずっと思っていた。その理由がよく分かった。

364　登山，ゴルフは日本に来るきっかけを作ってくれているので，これからももっとしんとうして日本と交流するきっかけになればいいと思った。

365　登山が人気というのは知らなくて，日本の山が人気だということにはおどろきました。

366　日本にも山を登りに来たり，ゴルフをしに来たりとスポーツの面で日本との交流があることはとてもいいことだと思う。

367　これからもスポーツを通して日本と韓国の交流が深まればいいと思った。

368　テコンドーは有名だから知っていたけど，登山が人気というのは驚いた。

369　テコンドーはアメリカの人たちが強いイメージでした。韓国の国技とは意外でした。

370　ゴルフやテコンドーなど強いと聞いてへぇ～と思いました。

371　テコンドーは韓国の国技であることをはじめて知った。だから教科書にもよくテコンドーが出てくるんだなと思いました。

372　テコンドーが韓国の国技と知って驚きました。

373　あまり韓国といわれて思いつくスポーツがなかったので，テコンドーはびっくりしました。中国のスポーツだと思っていました。

374　韓国でも登山が人気なのはおどろいた。また，日本に来て登山するなど愛好家が多いことについてびっくりした。

《韓国語の歴史》

375　私たちが今学んでいるハングルの歴史を知ることで，もっと興味を持つことができた。

376　ハングルの日があることにびっくりしました。

377　長い歴史を経て今完成されたハングルを学ぶのは感慨深いと思った。

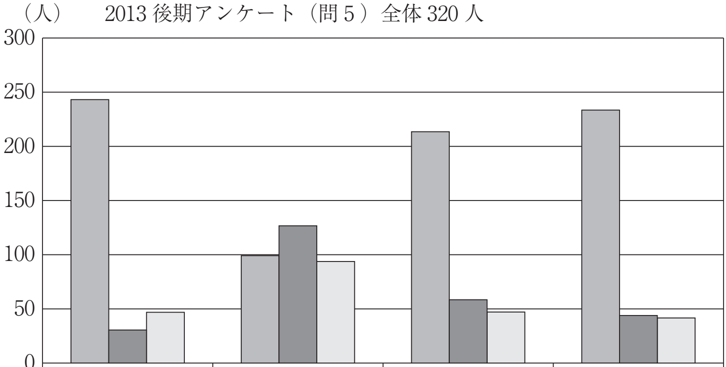
全体として，韓国文化に対する学生の固定観念が強く見受けられる。「韓国料理＝辛い」「韓国女性＝肌がキレイ」「韓国＝儒教の国」「韓国人＝真面目」等々，発表テーマごとに一定の固定観念を抱いていることが伺えた。それと同時に，発表内容をうけてもともとの固定観念が崩れるごとに「驚いた」「びっくりした」「（～だと思っていたのにそうでないことを）初めて知った」「衝撃」「意外」「新鮮」等といった反応がみられた。そして，「自文化」とは異なる「他文化」への対応や反応には様々な感情を伴う言葉が用いられている。「好き」「嫌い」「良い」「素敵」「恥ずかしい」「おもしろい」「楽しい」「日本人で良かった」「抵抗を感じる」「辛い」「寂しい」「うらやましい」「日本がいい」等がその例である。さらに，「親近感」「違和感」「温かい」「おしゃれ」「厳しそう」「かわいい」「無理」「ストレスたまりそう」「ユニーク」「めんどくさい」「不便」「考えられない」「重い」「変」等，肯定的に捉えられている部分もあるが，どちらかといえば否定的で拒否的なニュアンスのものの方が多数見受けられる。言い換えると，学生の中には，他文化に対する受け入れ方として自文化中心的な思考に基づいている者が少なからずいることが伺える。その他，一部の学生の反応からは日本文化と韓国文化を相対的に考えて受け入れようとする姿勢も見受けられた。さらには，韓国の文化を知りえたことで，自分の文化に対しても新たに興味を抱き，文化理解に対する積極的な態度を示す例もいくつか見られている。

このような学生の反応をうけ，教師としても様々なことを考えさせられる。何より韓国文化について学生が実際何を知っていて何を知らずにいるのかをより理解できるようになった。高校までの教育を通して，高校の教科書に載って

いるような内容は当然分かっていると思っていたことが，実際は教員側の単なる思い込みに過ぎないことを新たに知ることになった。反対に，教師も知らない最新の韓国事情やゴシップ的なものが学生の間で語られていることについては，韓流やテレビ等のマスコミの影響を思い知らされる。

何より痛感したのは，上記のような「発表」の授業形式が新たな異文化情報の発信と受信といった必ずしも望ましい効果だけをもたらすものではないということである。教師として大変困るのは，発表者の発信する文化情報が非常に偏った趣旨のものであるとか，根拠の乏しい話であるとか，ときには事実に反することや誤った情報であることが少なくなかったということである。教壇に立って発表をする側も，座って聞く側も，初めて知り得た情報を話し合うという状況であるため，多くの時間と努力をかけず容易に情報をかき集められる方法でごく簡単な「発表」が行われていることに原因があると考えられる。学生の自主的な活動として「発表」が行われ，その評価に対しても，教師の意見や評定が一切加わらない，学生の自律的な判断だけに任せられている状況では，例え発信された情報が新たなステレオタイプを生むようなものであっても教師が介入する余地は殆どないと考えられる。

最後に，年度末の最終試験時に実施する事後アンケートを通して，異文化・相互文化理解のために導入された「発表」の授業形態を学生はどのように受け止め，さらなる韓国語学習や異文化理解に関心を示しているかどうかを探ってみた。前もって断っておきたいのは，以下の示すデータは，昨年度「ハングル２」の受講者全員からの回答をまとめたものであり，本稿の「表１」で示したように，すべての受講生が「発表」形式の授業に取り組んでいたわけではないことである。言い換えると，以下のデータが「発表」の授業をうけての結果だけではないことを勘案してもらいたい。



	問5-①	問5-②	問5-③	問5-④
そう思う	242	98	214	234
そう思わない	31	127	59	44
よくわからない	47	94	47	42

①韓国語が読めるようになった。（そう思う・そう思わない・よくわからない）
②韓国語で基本的な会話ができるようになった。（そう思う・そう思わない・よくわからない）
③韓国，韓国人，韓国文化に対する関心が高まった。（そう思う・そう思わない・よくわからない）
④韓国と日本の文化の差を理解することができた。（そう思う・そう思わない・よくわからない）

図2　事後アンケートの「設問5」の①～④の問いと回答結果[22]

上図で示されている通り，問5-③では，回答者の67％が以前より韓国文化に対する関心が高まったと答えている。問5-④では，73％の回答者が韓国と日本の文化の差を理解できるようになったと答えていることが分かる。

5．終　わ　り　に

現代社会においては，母語教育に劣らないほど母語以外の言語を学ぶことが重要視されており，外国語教育の開始時期や教育方法等については論争が続いているが，外国語学習の当為性については一定の社会的な合意が見受けられる。したがって，あえてここで外国語を学ぶ意義について述べる必要もないよ

22）問5-②のみ1名の未回答があったため，合計回答者数は319人となる。

うに思えるが，教育現場で語学教師を務める者としての率直な感想としては，外国語教育の重要性や必要性はまだ十分には認識されておらず，教育目標とカリキュラム，語学教室での授業内容にもそれぞれ隔たりがあるように思えて仕方ない。

本稿では，大学に入ってから初めて英語以外の言語を学ぶ学習者に対して目標言語圏の文化を学生の自主的な「発表」の形式で提示し，その結果，学習者の異文化・相互文化理解にどのような反応や感想が得られたのかについて述べてきた。そして上記の授業事例を取り上げるにおいて，著者が勤めている大学の韓国語教育における教育方針や目標についても詳述した。

当然のことではあるが，学習者の目標言語能力と学習動機等によって，目標文化を見る目も，受け入れの態度も，異文化への興味・関心事も大きく異なってくる。さらに教室内で行われる語学指導は，学習者・教師・教材の３つが揃うだけの非常に限られた環境下での言語教育となる。このような条件の中，少しでも学習者のニーズに符合する異文化・相互文化理解のための授業を目指して，今後とも新たな授業計画を考案していきたいと思う。そのためには，まず何より「異文化・相互文化理解」に関する明確な教育目標を立てることが求められる。そして，「異文化理解」や「相互文化理解」といった類に対する教師の認識再考と経験の共有が必要になると考えられる。さらに，決められた授業時間の中で語学指導と文化理解をどのように組み合わせていくのかについても今後の課題として考えていきたい。

参考資料

吉島茂・大橋理枝他（訳編）(2004)『外国語教育Ⅱ外国語の学習，教授，評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社. ［Council of Europe (2001). Common European framework of reference for languages : Learning, teaching, assessment. Cambridge : Cambridge University Press.］

Brooks, N. (1971). A guest editorial : Culture-a new frontier. *Foreign Language Annals* 5, 54-61.

Brooks, N.（1975）. The analysis of language and familiar cultures, in The Cultural Revolution. Reports of the Central States Conference on Foreign Language Education, edited by R. C. Lafayette. Lincolnwood, Illinois : National Textbook Company.

Brown, S. C., & Kysilka, M. L.（2002）. Applying multicultural and global concepts in the classroom and beyond. Boston : Allyn & Bacon.

Halverson, R. J.（1985）. Culture and vocabulary acquisition : A proposal. *Foreign Language Annals*, 18（4）: 327-332.

「付録」「ハングル 2」クラスにおける相互文化理解授業の実施例
（以下授業オリエンテーション時に配布した文化関連の『発表』に関する説明資料の一部）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
授業オリエンテーション
成績評価（100 点満点）
定期試験 60 点（中間 30 点，期末 30 点），小テスト 20 点，発表 10 点，課題 10 点
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

発表について　　発表 10 点（基本点 3 点＋評価点 7 点）

3～4 人が 1 グループとなって「韓国」「韓国語」「韓国人」「韓国文化」に関連するテーマを取り上げ，授業の最初の 10 分間発表します。発表の後，発表者を除くクラスの出席者全員から発表内容について評価をしてもらい（最高 7 点），その平均値を成績（発表）に加算します。

グループのメンバーが決まったらグループ名，メンバーの名前，発表のテーマ，発表の希望日を紙にまとめて提出してください（○○日の授業開始前まで）。発表のテーマや希望日が重なる場合は，先に申し出たチームが優先されます。

《報告の例》（ノートなどの紙に書いて提出。紙のサイズは自由）
＊グループ名：（例）ハングルサラン（メンバーで相談して適当な名前を付ける）
＊メンバー：学生番号＋名前（ハングル），リーダー（1 名）を決めて記すこと
＊テーマ：韓国の家庭料理（テーマは，第 1 希望から第 3 希望まで記入）
＊発表の順は，次回の授業で知らせる。
＊発表での使用言語は自由
＊発表後，発表者以外の授業参加者が発表内容に対する評価を行う。発表内容のほか，発表の仕方も評価の対象とする。評価最高点は 7 点。評価シートには，発表点と共に発表内容を受けての感想や意見のほか，自分が付けた点数の理由付けをも書く（理由付けがはっきりしないものは無効とする）。

《過去の発表テーマの例》
＊韓国の学校（学校制度，大学受験，大学キャンパスにおける日韓の違いなど）
＊韓国の祝日（記念日／お正月・お盆の風景／休日の過ごし方）
＊韓国の軍隊（徴兵制度）／韓国の食生活（家庭料理）
＊韓国の有名人（日本で有名な韓国人，韓国で有名な日本人）
＊韓国と日本の恋愛／結婚文化の違い
＊韓国と日本の生活習慣の違い，等々

発表は，必ずメンバー全員が行うものとします。発表の日に正当な理由なく欠席した場合，発表点は 0 点となります。発表時に，パワーポイント，印刷物の配布など，小道具の使用も可能です。それらを使用する際は，事前に担当の先生に相談してください。